



経験と出会い、心躍らせた1学期

園長 柿原直昭

アジサイが色付き始めて「きれいだなあ」と感じていたらはや7月。1学期も残すところ3週間となりました。振り返ってみると、子供たちは春の遠足、町屋幼稚園や近隣保育園の園児たちとの交流、第三峡田小学校や地域のグループホーム訪問、カレーパーティー等、様々な経験をしました。そして、夏といえばプール。園庭のプールでは子供たちが大はしゃぎする元気な声、友達と楽しそうに水遊びをする姿が太陽のように眩しく見えます。

今月には夏まつりやこども会（七夕）が予定されています。夏まつりには、第六瑞光小学校の2年生が参加し、年長組のお店屋さんをまわります。年長組の子供たちは、自分たちのお店に小学生が来ると知り、より一層力を入れて準備を頑張っています。また、年中組は、七夕の日が近くなってきたことを感じ、輪つなぎや吹き流し作りなどに丁寧に取り組み、自分の力でできるようになったことを教師と一緒に喜び合っています。一つ一つの活動で身に付く力やそこで得た充実感、達成感が子供たちの財産になります。4月の頃と比べると、年中組も年長組も、一段とたくましくなりました。

保護者の皆様には、いつも本園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。今年の夏は遠出をしたり、これまでできなかったことを経験したりする特別な夏になることを願っています。

交流の記録

- ・6月7日（水） 第二東日暮里保育園と交流しました。
栽培物や飼育しているカメを紹介したり、登り棒や鉄棒を使って技を見せ合ったりしました。
- ・6月13日（火）ういず南千住保育園と交流しました。
ボール遊びや大縄、砂場遊びを一緒に楽しんだ他、最後には園庭全体を使ってみんなで氷鬼をしました。



★7月のねらい★

- <年中> ・友達と一緒に気に入った遊びや、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。
・夏の生活の仕方を知り、健康で安全に過ごす。
- <年長> ・友達と思いや考えを出し合って、遊びや生活を進めようとする。
・自分なりのめあてをもち、考えたり工夫したりして繰り返し遊ぶことを楽しむ。